

全国に広がったハローズモデル

「まだ食べられる食品を捨てるのはもったいない」。従業員のこの一言から、岡山県に本部のあるスーパーマーケット、ハローズの取り組みがはじまりました。

食品のやり取りを単純化

食品ロスをへらす方法のひとつが、スーパーマーケットから消費期限・賞味期限内の食品をフードバンク（くわしくは39ページ）経由で福祉団体や施設に提供するというもの。このしくみをかんたんにしたのがハローズモデルです。

フードバンクと契約した福祉団体や施設が、近くにあるハローズの店に直接、食品を引き取りにいくようにしたのです。これによって、ハローズがフードバンクに食品を運ぶ手間と、フードバンクが施設ごとに食品を分ける負担がへりました。さらに、食品の受け渡しは毎日できるので、消費期限の短い乳製品や加工肉、農産品なども提供でき、大量の食品ロスの削減が実現しました。

ハローズのよびかけにより、岡山県内では80%近くのスーパーマーケットがハローズモデルを活用。さらに、日本スーパーマーケット協会を通じて、ハローズモデルは全国のスーパーマーケットに広がっています。



フードバンク

メリット

施設ごとに食品を分ける手間がない！

福祉団体や施設の担当者が毎日、近くの店に食品を引き取りにくる。

引き取った量をまとめて報告

引き取った量を報告

2022年には
ハローズ全99店で
毎月20t
の食品を提供！

スーパーマーケット

メリット

消費期限が短い食品も提供できる！



食品を直接引き取りに行く



福祉団体や施設（支援団体）

メリット

乳製品や生鮮食品など、いろいろな食材が食べられる！

